

八王子市中町でのまちづくり活動

(1) 八王子市中町とは

明治30年の大火をきっかけに花街が集約した「中町」では、産業とともに花街文化も発達し、大正末期には150名ほどの芸妓数を持っていたが、織物産業の衰退とともに芸妓の数も減少の一途を辿ることとなった。近年、かつての花街の雰囲気や回生する気運が地元中心に高まり、暮らしに歴史と文化の薫るまちづくりを目指して、「中町地区まちづくり協議会」を中心とした住民の方々や八王子市の市街地整備課、まちづくりアドバイザーの方々などが協力して、地区まちづくりを行っている。当研究室では今年度から取り組みに参加させていただけることとなった。以下にその概要を記す。



(2) 各種イベントへの参加

■ 灯籠祭り(準備) (2011/09/04)

中町の資源のひとつに黒堀のある通りと芸妓文化があるが、それを活用しアピールするため、2011年秋にお祭りを開催する運びとなった。ついでにはその祭りで使用する竹製の灯籠を造るためにまちづくり協議会や市の担当者などの関係者や野澤研究室の学生が集まり、協力して竹を加工、灯籠の形にしていった。



■ 灯籠祭り (2011/09/17)

お祭り開催当日には、設営段階からの参加となった。今回に合わせて作成されたスタッフTシャツを着用し、夜間の開始予定時刻までに中町内の各所に上記の竹灯籠を設置してまわった。日が落ちてからは灯籠内部のロウソクに点火して回り、通りには浴衣姿の祭り参加者があふれ大いに盛況となった。





■品川宿周辺まちづくり協議会への視察・勉強会（2011/11/19）

歴史やまちなみ、石畳の整備などの共通点とそれらの資源を活かしたまちづくりを進めている旧東海道品川宿の取り組みを見学し、大いに中町での取り組みの参考となった。

■地区まちづくりフォーラム in 中町（2012/02/25）

市の主催で行われた、市民向けのまちあるきや地区のマップ作りなどを行うイベントにも参加させて頂いた。総勢 40 名を超える参加者を、まちづくりアドバイザーの方を中心とした4つの班に分け中町内を散策、とった写真やメモを基に中町の良い所や気になった所、これからの展望やプランなどを話し合い発表する密度の濃い時間となった。学生は内容面での参加に加え、会場設営などの補助的な作業も行った。





■卒業論文における中町での研究 (2012/02/07)

今年度、2名の4年生がこのまちを対象とした卒業研究を行ってきた。地元の皆様のご配慮により、この2名（折茂彰弘君、高橋 航君）が地域の方々に発表する機会をいただいた。

■今後の取り組み

2011年秋から翌年3月までにかけて、「駐車場ネットフェンスの黒塀化プロジェクト(仮称)」にも研究室として取り組んでいる。協議会やまちづくりアドバイザーの小澤邦博氏の協力のもと、中町内にある駐車場のフェンス(一般的な金属製の物)を黒塀化しようという試みであり、模型やCGモデルを交えた検討・意見交換を通して実際に施工するのが最終目標である。

